



# 14 タラントを はっけんする あたらしい はじまり

げつようび

**I サムエル 16章 13節** サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。主の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った。

ユダヤ人は、幼い時からタラントを発見して、世の中のリーダーになっています。それなら、私たちはどうすればよいのでしょうか。何よりも第一に、みことばの流れの中にいなければなりません。そして、聖書に出てくる神様の人が歩いた足跡を確認しなければなりません。そして、ただキリスト、ただ神の国、ただ聖霊の契約を握って、礼拝に勝利しなければなりません。そうすれば、神様が私に与えてくださった、ただ、唯一性、再創造の答えを見つけるようになるでしょう。

そのときから、神様が造られた私を発見することができます。そして、すべての人を助けて生かせる私のことを見つけるようになります。そして、全世界237か国のどこかにある神様が備えてくださった私の現場に導かれるようになります。

今日、私は、タラントを発見する人として、新しいはじまりを準備しましょう。福音の中で発見した私、私のこと、私の現場に導かれて行くなら、神様は私を通して死んでいく成功者を生かしてください。



聖書からつぎの( )に入る名前を見つけて書いて、私のタラントを見つける祈りをはじめましょう。

そのペリシテ人は、立ち上がり、  
( ) を迎え撃とうと近づいて来た。  
( ) もすばやく戦場を走って行き、  
ペリシテ人に立ち向かった。  
( ) は袋の中に手を差し入れ、石を一つ取り、  
石投げでそれを放ち、ペリシテ人の額を打った。  
石は額に食い込み、彼はうつぶせに倒れた。

I サムエル 17:48~49 のみことば



きょうのみことば



神様、ありがとうございます。多くの人を生かすことができるタラントを発見して、新しいはじまりに挑戦することができる祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんぶが 準備する資料



かようび

# よのなかを かいふくする すくいの ちから

使徒  
1章 14節

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

どんなに立派な人であっても、福音であるイエス・キリストによって救われていないなら、サタンの手につかまっている状態です。反対に救われた神の子どもならば、見捨てられたり、ほろびたように見えたりしても、決定的瞬間に神様のみこころを成し遂げるようになります。ですから、神の子どもであり Remnant である私たちは、世の中で最も大切な存在です。

そのような私たちに何よりも必要なことは、上から与えられる力です。福音の契約を握って、講壇のみことばと「子どもの祈りの手帳」のみことばについて行きながら味わえば良いのです。味わうということは、福音とみことばを信じて、みことばの示すそのとおりに行動することです。そうすれば、神様は私たちに上からの力を注いでくださいます。ですから、契約のみことば、福音のみことばを堅く握らなければなりません。これが私の刻印になって、私に根をおろす時まで集中しなければなりません。神様が私たちを通して時代を変化させる働きをなさるでしょう。そのとき、神の国が臨むでしょう。みことばで救われた身分と権威を味わいながら、世の中を回復するように祈りましょう。世の中を生かすはじまりになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。みことばによって、救われた身分と権威を味わって、神の国の祝福の中で、この世を生かす証拠が与えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

私の現場と全世界237か国に神の国が臨むと、そこはどんな風になるでしょう。私が心に決めた国の人たちに福音が伝わるように祈ってその姿を想像して絵をかきましょう。



きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんぶ  
準備する資料

Blank lines for writing names and preparation materials.





# かみのくにの ちから

使徒  
1章3節

イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

勉強をするために学校へ行きますが、勉強のほかにも難しいことがたくさんあります。教会へ行っても、難しいことがあります。神様のみことばが私とは合わないと感じる時もあるでしょう。自分に失望して、自分は実力も能力もないように見えます。このように私が価値なくちっぽけに感じるたびに、まず確認しなければならぬことがあります。神様が重要な計画を私の弱い姿の中に隠しておかれたということです。

私が行く先々で、様々な人に会うたびに、またいろいろな状況によって、たくさん問題が発生するでしょう。しかし、神様はまことの答えを、問題や事件、私の弱さの中に隠しておられるということを忘れないようにしましょう。そのような私に、神様は世の中が知らない神の国を力を与えると約束してくださいました。ただ福音の契約であるイエス・キリストの御名を握って祈りましょう。すべてに神の国が臨む祝福を、必ず味わうようになるでしょう。

## きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.

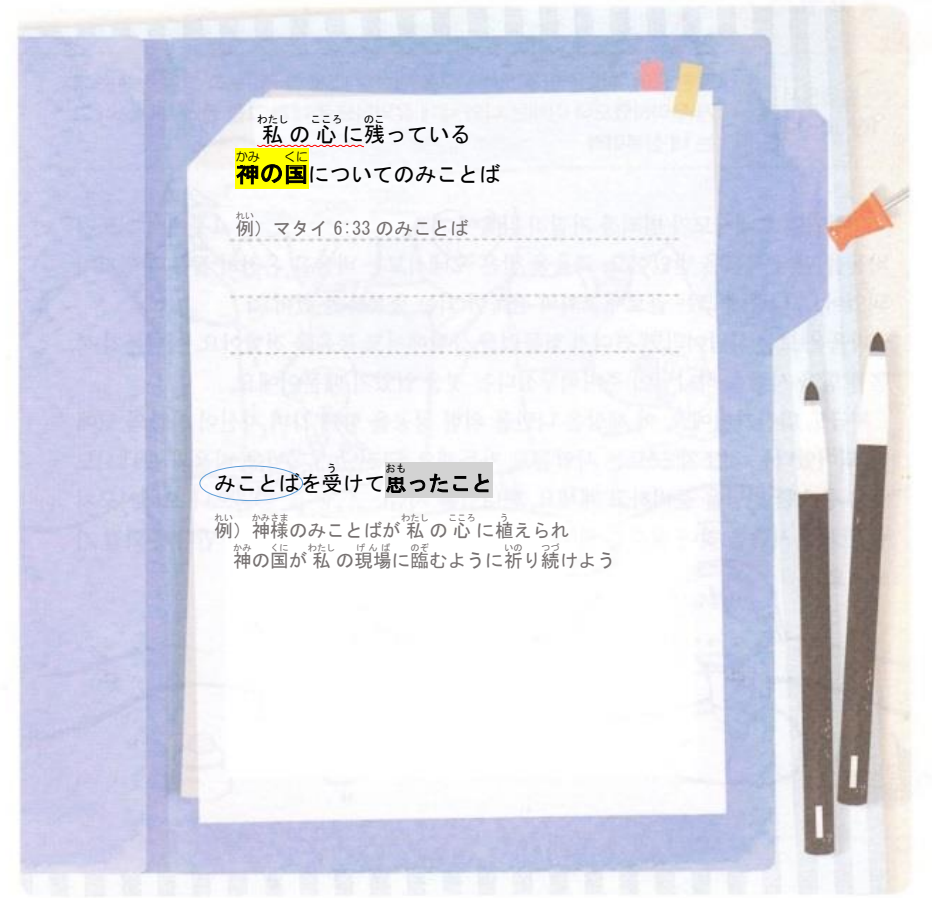
## きょうのいのり

神様、ありがとうございます。足りなくて、弱くても、ただ福音だけを味わう祈りによって神の国の祝福を伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを  
適用しよう

神の国の方についてどれくらい知っていますか。  
パパやママ、牧師先生、教会の先生とフォーラムして  
いちばん心に残るみことばを見つけて、神の国の資料を  
作りましょう。



私の心に残っている

神の国についてのみことば

例) マタイ 6:33 のみことば

みことばを受けて思ったこと

例) 神様のみことばが私の心に植えられ  
神の国が私の現場に臨むように祈り続けよう

## きょうのでんどう

会人

Grid area for writing the daily devotion.

準備する資料

Blank lined area for preparing materials.



# 17 であいの しゅくふく

もくようび

## ピレモン 1章 10~12節

獄中<sup>ごくちゆう</sup>で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお願<sup>ねが</sup>いしたいのです。彼は、前にはあなたにとって役に立たない者<sup>やくたないもの</sup>でしたが、今は、あなたにとっても私<sup>わたし</sup>にとっても、役に立つ者<sup>やくたつもの</sup>となっています。そのオネシモを、あなたのもとに送<sup>おく</sup>り返<sup>かえ</sup>します。彼は私<sup>わたし</sup>の心<sup>こころ</sup>そのものです。

奴隷<sup>どれい</sup>のオネシモが犯<sup>おか</sup>した罪<sup>つみ</sup>によって監獄<sup>かんごく</sup>へ入れられました。ちょうどそこに入<sup>はい</sup>っていた伝道者<sup>でんどうしゃ</sup>パウロに会<sup>あ</sup>って福音<sup>ふくいん</sup>を受けました。福音<sup>ふくいん</sup>を受けたオネシモは、パウロの全<sup>ぜん</sup>てを助<sup>たす</sup>ける使<sup>し</sup>命<sup>めい</sup>者<sup>しゃ</sup>になりました。また、後<sup>のち</sup>に彼はコロサイ教会<sup>かろさいきょうかい</sup>の監<sup>かん</sup>督<sup>とく</sup>となる祝<sup>しゅく</sup>福<sup>ふく</sup>を味<sup>あじ</sup>わいます。

パウロは普通<sup>ふつう</sup>の人ならば耐<sup>た</sup>えるのが難<sup>むずか</sup>しいような状<sup>じょう</sup>況<sup>きやう</sup>でも福音<sup>ふくいん</sup>を伝えました。どんな場所<sup>ばしょ</sup>でも福音<sup>ふくいん</sup>を受け<sup>う</sup>けるべき人<sup>ひと</sup>を神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>が備<sup>そな</sup>えておられることを知<sup>し</sup>っていたからです。

今<sup>いま</sup>も同じ<sup>おな</sup>じです。この世<sup>よ</sup>は自分<sup>じぶん</sup>だけのための成<sup>せい</sup>功<sup>こう</sup>を指<sup>め</sup>指<sup>ざ</sup>していますが、自分<sup>じぶん</sup>がサタンの奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>になっているということさえ知<sup>し</sup>らない人<sup>ひと</sup>々<sup>びと</sup>でいっぱいです。しかし、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>はパウロとオネシモのような重<sup>じゆう</sup>要<sup>よう</sup>な出<sup>で</sup>会<sup>かい</sup>いを備<sup>そな</sup>えてくださっています。神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>は、今<sup>いま</sup>は捨<sup>す</sup>てられた者<sup>もの</sup>のようですが、オネシモのように変<sup>か</sup>わる人<sup>ひと</sup>を見<sup>み</sup>つて生<sup>い</sup>かすことを望<sup>のぞ</sup>んでおられます。私<sup>わたし</sup>たちもパウロのように、絶<sup>ぜつ</sup>対<sup>たい</sup>弟<sup>でい</sup>子<sup>し</sup>と会<sup>あ</sup>うことを祈<sup>いの</sup>りましよう。



色をぬろう

福音<sup>ふくいん</sup>を受ける前<sup>まえ</sup>のオネシモのように、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>に会<sup>あ</sup>えず苦<sup>くる</sup>んでいる友<sup>とも</sup>だちがいます。友<sup>とも</sup>だちにいちばん必<sup>ひつ</sup>要<sup>よう</sup>な福音<sup>ふくいん</sup>を伝<sup>つた</sup>えることができるようにと祈<sup>いの</sup>りながら、色<sup>いろ</sup>をぬりましよう。



### きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



### きょうのいのり

神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>、ありがとうございます。すべての人<sup>ひと</sup>が悪<sup>わる</sup>いサタンの奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>となっている時<sup>じ</sup>代<sup>だい</sup>に神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>が備<sup>そな</sup>えてくださった絶<sup>ぜつ</sup>対<sup>たい</sup>弟<sup>でい</sup>子<sup>し</sup>と会<sup>あ</sup>うことができますように、生<sup>い</sup>きておられるイエス・キリストのお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によってお祈<sup>いの</sup>りします。アーメン



### きょうのでんどう

あ ひと  
会 う人

Grid area for writing the daily story.

じゆんび しりょう  
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



18

きんようび

# みことばに したがう ひとたち

**使徒 1章 14節** この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

聖書に出てくる契約の中にいた人々を良くみると、みんな大きな祝福を受けました。彼らの共通点は、みことばに従って歩んだということです。初代教会の信徒は、オリーブ山から降りてマルコの屋上の間に集まりました。そこで福音を伝えるのは法律的に禁止されていたのですが、みことばのとおり、命をかけて集まったのです。そのあと、大きな迫害が起きたとき、アンテオケ教会をたててパウロを中心に宣教師を派遣する祝福を味わうようになりました。

このように、契約の中でみことばに従って歩むなら、理解できないことが起きます。私たちの考えで理解できなくても、神様の再創造のみわざが始まったためです。私たちも毎日毎日与えられるみことばの流れに従って、神様の働きを体験しましょう。私の現場に聖書に記録されたことがそのまま再現されるでしょう。



## きょうのみことば



## きょうのいのり

神様、ありがとうございます。契約の中でみことばに従って歩み、世の中が知らない大きな理解を越えたみわざ見る祝福が与えられますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを  
適用しよう

新約聖書のマルコの屋上の間の人々のように、神様のみことばをもって、神の国が臨むように祈っていた旧約聖書の2人がいます。下のみことばを見つけて、私の告白を書きましょう。

### ダビデの告白

1サムエル 17:45

### イザヤの告白

イザヤ 6:8

### わたしの告白

## きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料

# 19

どうび

## こころを さだめました

### ダニエル 1章8節

ダニエルは、王の食べるごちそうや王の飲むぶどう酒で身を汚すまいと心に定め、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願った。

多くの神の子どもが、世の中の奴隷や捕虜、属国のように生きています。それゆえ、人々のことばに傷ついたり、あるいは傷つけたりして、自分自身の問題で涙を流したりします。しかし、私たちの涙は理由と対象が違うものであるべきです。今日の聖書のレムナントのように、次のことを心に定めましょう。

ダニエルと三人の青年は、神様のみこころを見て、死の危機に直面しながらも心を定めました。神様は、直ちに主の御使いを送って、彼らを守って救い出してくださいました。また、王の夢を解釈する者がひとりもいなかったそのとき、すべての民の前でその夢を解釈してメッセージを伝えました。神様のみこころは絶対に誰も防ぐことができません。私たちがその神様のみこころを心に留めているなら、神様はまことの答えを与えてくださるでしょう。いま、私たちも神様の前で、心を定める祈りをしましょう。

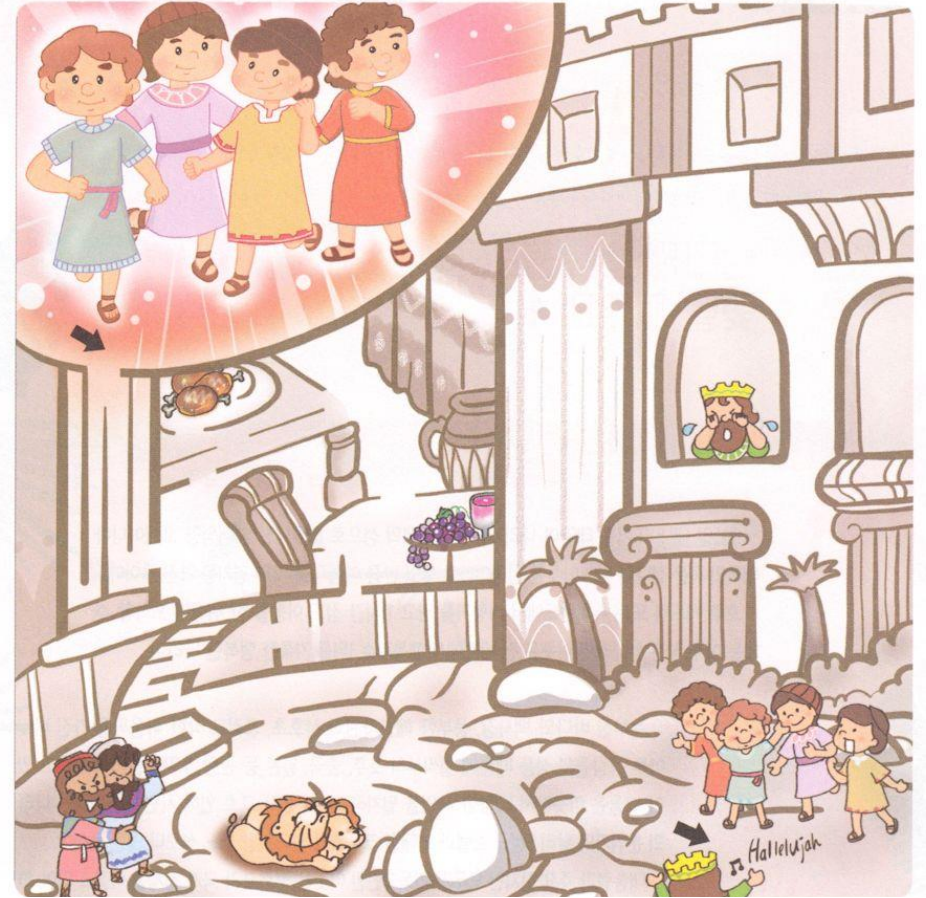
### きょうのみことば

### きょうのいのり

神様、ありがとうございます。とんでもないことに涙を流すのではなく、時代を見て、神様のみこころを知って心を定める祝福を与えてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



時代を見て、神様が喜ばれることに心を定めたものは死をもおそれません。死を前にして、大胆だったダニエルと三人の青年について、神様が願われる道を選んでめいろを通りましょう。



### きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Blank space for notes or preparation materials.